

## 文教厚生常任委員会会議録

1 本委員会の開催日時は次のとおりである。

令和3年7月28日（水）午後0時59分

2 本委員会の出席委員は次のとおりである。

委員 長	平原 志保 君	副 委 員 長	鈴木 てるみ 君
委 員	山 田 龍 治 君	委 員	仮 屋 国 治 君
委 員	新 橋 実 君	委 員	植 山 利 博 君
委 員	下 深 迫 孝 二 君	委 員	宮 内 博 君

3 本委員会の欠席委員は次のとおりである。

な し

4 委員外議員の出席は次のとおりである。

な し

5 本委員会に出席した説明員は次のとおりである。

保健福祉部長	林 康 治 君	保健福祉政策課長	川 畑 信 司 君
保健福祉部特任次長	砂 田 良 一 君	健康増進課長	小 松 弘 明 君
新型コロナウイルスワクチン接種対策課主幹	武 田 繁 博 君	保健福祉政策課主幹	森 山 勇 樹 君
健康増進課主幹	上 小 園 貴 子 君	新型コロナウイルスワクチン接種対策課G長	大 浦 好 一 郎 君
新型コロナウイルスワクチン接種対策課サブリーダー	川 添 哲 弘 君	新型コロナウイルスワクチン接種対策課サブリーダー	大 田 秋 美 君

6 本委員会に出席した陳述人は次のとおりである。

な し

7 本委員会の書記は次のとおりである。

書 記 水 迫 由 貴 君

8 本委員会の事件は次のとおりである。

（所管事務調査） コロナウイルスワクチンの集団接種に対する調査

9 本委員会の概要は次のとおりである。

「開 議 午後 0時59分」

○委員長（平原志保君）

ただいまから文教厚生常任委員会を開会します。本日は所管事務調査として、コロナウイルスワクチンの集団接種に対する調査を行います。本日の会議は、お手元に配布しました会次第に基づき進めてまいります。

### △ コロナウイルスワクチンの集団接種に対する調査

○委員長（平原志保君）

今回はですね、お忙しい中、保健福祉部のほうに無理を言った形で1時間時間をいただいて、

開催している今回の調査です。皆様、その辺の時間のスケジュールを見ながら、申し訳ございませんが進めていただくようお願いいたします。それではコロナウイルスワクチンの集団接種に対しての調査について、執行部から御説明をお願いいたします。

○保健福祉部長(林 康治君)

新型コロナウイルスワクチン接種の概要について御説明します。本市における新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、本年3月には医療従事者への接種を、4月からは65歳以上の方への個別接種を開始しました。また、6月2日にはイオン隼人国分ショッピングセンターを会場とする集団接種を開始し、昨日現在で、65歳以上の方の約84%が1回目の接種を、約72%の方が2回目の接種を終えています。64歳以下の方については、6月30日に接種券を郵送し、7月5日から基礎疾患を有する方や幼稚園・保育園の教諭・保育士などの優先接種対象者の予約受付を開始し、接種を始めたところです。今後の接種スケジュールにつきましては、8月10日から64歳以下の方に対する集団接種の予約を始めることとしており、医療機関での個別接種についても、ワクチンの供給量を確認しつつ、予約開始日を設定したいと考えているところです。最後に、ワクチンの供給につきましては、65歳以上の方は6月末までに2回分に相当する量の供給がありましたが、64歳以下の方へのワクチンについては、7月から8月にかけて希望量の4割から6割の減となるなど、ワクチンの接種スピードを調整せざるを得ない状況となっています。現在、市長会などを通し、国を始め関係機関に、ワクチン供給の増加や今後の見通しなどについて要望を行っているところです。この後、詳細につきまして担当課長が説明いたします。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長(砂田良一君)

まず、ワクチン接種の状況について説明します。18歳以上の市全体の対象者数は10万3,411人で、昨日現在の1回目の接種者数は3万8,875人、率にして37.59%、2回目が2万7,324人で、26.42%です。そのうち65歳以上の方につきましては、接種対象者36,373人で、1回目の接種者数は3万653人、率にして84.27%、2回目の接種者数が2万6,227人で、72.11%となっています。本市のワクチン接種につきましては、始良地区医師会や各医療機関の御協力により順調に推移しているものと考えています。次に、65歳以上のワクチン接種につきましては、4月26日から医療機関での個別接種を、6月2日からイオン隼人国分ショッピングセンターでの集団接種を開始しています。また、6月11日には、ワクチン接種の予約が取れていない方や個別接種の予約が8月以降となっている方などを対象に、65歳以上の方向けのワクチン接種加速化事業を実施し、ワクチン接種の迅速化を図ったところです。加速化事業では、民生委員や社会福祉協議会などの関係機関の協力を得て予約状況の把握を行い、これまでに415件を名簿に登録し、386件について医療機関や集団接種会場との調整等を行ったところです。64歳以下のワクチン接種につきましては、6月30日に接種券を発送し、基礎疾患を有する方などの予約受付を7月5日から開始しています。優先接種対象者は8区分を設定しており、①基礎疾患を有する方、②高齢者福祉施設及び障害者施設等の従事者、③幼稚園の教諭等、保育園の保育士等、放課後児童クラブ従事者、学校教員等、放課後等デイサービス従事者、④居宅サービス事業所等従事者、

⑤障害者手帳保有者及びその家族，⑥民生委員・児童委員，保健師，ケースワーカー，介護認定調査員，⑦警察官，自衛隊員，⑧観光業従事者，飲食店従事者，公共交通機関等従事者の約1万8,000人を見込み，予約はかかりつけ医等に直接予約または事業所単位で産業医等の医療機関と調整を行うこととしています。また，産業医等のない事業所については市で調整を行っており，これまで約2,200人を医療機関や集団接種会場へ案内したところです。また，8月10日から集団接種の予約を開始することとしており，医療機関での個別接種についても，現在，始良地区医師会と予約開始時期などについて調整を行っているところです。また，国からのワクチンの供給については，一般接種に係る7月以降の配分計画が示され，希望量を下回る配分結果となっており，各医療機関に対し予約の調整をお願いしたところです。今後も，国や県の動向に注視しながら，効率的なワクチン配分に努めてまいりたいと考えています。今後本格化する12歳以上64歳以下の接種に伴う事務量の増大に対応するため，6月25日付けで新たに18名からなる新型コロナウイルスワクチン接種対策課を新設し，体制の強化を図ったところであり，引き続きワクチン接種の迅速かつ円滑な推進に努めてまいります。以上で，新型コロナウイルスワクチン接種についての説明を終わります。

○委員長（平原志保君）

ただいま執行部からの説明が終わりました。質疑に入ります質疑はありませんか。

○委員（新橋 実君）

ちょっと確認ですけど，この12歳以上というのは，小学校6年生からということで理解していいですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

本年度満12歳になる方が対象ということで，接種のほうは12歳になった日から接種ができるということになっておりますので，12歳は小学校6年生も該当するというふうに考えております。

○委員（宮内 博君）

どうも御苦労さまです。この後，議員と語ろかいを控えております。それで，事前にですね，執行部の方に現在の状況等をお聴きをする機会を設けていただいたということでございますけれど，具体的には霧島市社会保障推進協議会のほうから14項目にわたってですね，こういうことで意見交換をしたいということで，文書が提出をされているわけなんですけれども，時間の関係がありますので一つ一つ読み上げませんけれども，1から14までの項目について，執行部のほうにもこの文書が渡っているということでありますから，その結果を一つ一つ，まず紹介してもらえませんか。

○委員長（平原志保君）

宮内委員，口述書のところで最初に説明があつて，かぶつてるところは外してつていうことで。[「もうこれでいったほうが，番号で言っていただければ」という声あり]

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

14項目につきまして、医療機関から寄せられている予約に関する意見ということで、14項目いただきました。今、私どものほうで考えていることについて報告をさせていただきますが、まず1点目の件ですが、霧島市においては65歳以上の方向け接種については集団接種のみ。市の予約システムを活用しておりますと。市内医療機関の一元的な予約窓口の構築というものは考えていないところです。というような回答でよろしいですか。続けていいですか。質問を読み上げてもいいですか。今のは①の1ですね、次に②の1になります。64歳以下の接種についてはどのように改善されますかということで、今後、市役所での一元管理できるシステムというものを構築しておりますが、システムを活用したいというような医療機関が、全医療機関に照会をかけましたところ、9医療機関からの申出があったということで、今後は、この9医療機関を中心に、市のほうで予約調整をしていきたいというふうに考えております。2点目のリアルタイムでの予約がどの程度あるかを医療機関に知らせてほしいということでしたが、今回、市のほうで準備したシステムのほうでは、医療機関が九つということになりましたので、全ての医療機関のリアルタイムでの把握というのは難しいものと考えております。3点目の段階的に接種券を配ることということの質問ですが、各年代の優先接種対象者が等しく接種機会を得られるように、本市では一斉に接種券を発送したところでございます。4点目の進捗状況を医療機関に情報提供してほしいということでございますが、現在、市のホームページのほうで、最新の接種状況を御手元に資料としてお配りしておりますが、接種の人数と率ということで、今現在、ホームページに掲載をしているところでございます。5点目のワクチンの関係でございますが、国に改善を求めるべきではないか。市の考えをということで、現在、市としましては市長会等を通じまして、関係機関に対し、本市の接種可能数とか、それから現在までの実績、市外居住者への接種実績など等を提示しながら、本市が必要とするワクチン量の安定的な供給というものの要請をしているところでございます。6点目の説明会の日程並びに資料提供を事前にしてほしいということで、これにつきましては、事前の資料配付と改正通知についても早めにとということで、今後、配慮していきたいというふうに思っておりますが、8月3日に医療機関の説明会を予定しておりますので、明後日中には改正通知と資料のほうを配付したいというふうに考えております。7点目です。医療機関との連携が現場のほうには伝わってこないというようなことでございますが、始良地区医師会とは接種に関しまして様々な打合せを行っているところでございます。接種計画とかスケジュール等を協議しております。これにつきましては適宜、医療機関説明会等を開催しておりますので、情報提供ということで市側のほうから行っているところでございます。8点目のV-s y sとV R Sを連動できないかということでございますが、このシステムについては、国のほうで管理がされております。それぞれ所管省庁が違うということで、我々のほうで連携というものはちょっと難しいのかなというふうに考えております。9点目のワクチン供給状況をホームページ等に掲載してほしいということでございます。これにつきましても、御手元の資料にありますように、ワクチン、第1クールから第11クールまでのワクチンの供給状況について、ホームページで掲載をしているところでございます。それから10点目でございますが、接種開始時等について、8月1日からとなっているが、医療機関の状況によって変わるという内容をお知らせしてほしいということで、これについて

は、ワクチンの供給が最近ちょっと減少しているというようなことから、延長をさせていただいたところですが、予約開始については8月の下旬を予定しております。個別接種についてです。そういったことで、接種時期については各医療機関のほうの実情に合わせて実施していただきたいということをお願いしたいというふうに考えております。住民のほうには当然、市のチラシを作成し、ホームページ等で周知は致します。11点目のワクチン供給が遅れた場合の住民への周知ということで、これにつきましても市のホームページ、それからFMきりしま、きりしま防災・行政ナビなどを活用しまして、タイムリーな周知に努めていきたいというふうに考えております。12点目ですが、ワクチンの関係で、6月の段階では配送前日の午前中までに増量など対応可能であったので、今後も続けてほしいということですが、現在、状況は非常に厳しい状況にありますので、現段階では柔軟な対応をとることが非常に困難な状況です。今後、ワクチンの供給に応じて対応できればというふうに考えております。13点目です。ワクチン供給について、V-s y s上で管理ができないかということですが、基本的にV-s y sは、市と基本型接種施設とのやりとりということになっております。基本型接種施設は、本市の場合は霧島市となりますので、接種の実施主体であります各医療機関とのシステムの相互のやりとりというのは難しいのかなというふうに考えております。14点目ですが、65歳以上の接種希望者が全員受けられているかということですが、先ほどの口述にもありましたが、65歳以上につきましては加速化事業を実施したところですが、そういった加速化事業の中で、予約の取れていない方や8月予約の方などを対象に、また、交通機関等が不便な方なども各社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の調査によりまして把握しまして、接種の加速に努めたところですが、14項目については以上になります。

○委員（宮内 博君）

現在の接種状況というところの部分が上のほうにあるんですけど、ここに4項目書いてありますが、この件についてはどうでしょう。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

1点目に各地区のということで提出がされておりますが、各地区についてはうちのほうでのVRS上の情報はありませんので、資料がないということになります。それから2点目の集団接種と個別接種ということになりますが、集団接種におきましては、これまでトータルで8,712人がイオンのほうで接種をしております。個別接種のほうは5万6,880人ということで[8月29日の委員会で「集団接種と個別接種合わせて5万6,880人」と訂正あり]、比率としましては、集団接種のほうは15.3%になろうかというふうに思います。それから、②ですが、集団接種と個別接種ということで、接種の状況としましては、集団接種を行っていただいている医療機関は、市内で67医療機関のほうに集団接種会場への参加をお願いしております。個別接種については、市内63医療機関のほうで行っているところです。[「もう一回お願いします」との声あり]。イオンのほうでやっている集団接種のほうには、市内の67医療機関のほうから参加をいただいていると。各医療機関独自でやっている個別接種については、市内63医療機関のほうで実施をしているということになります。③の一般住民接種と職域接種の現況ということで、一般住民

接種の現況につきましては、現在、65歳以上の方、並びに19歳から64歳以下の方のうち先ほど申し上げた優先8項目の優先接種対象者について、現在、接種を行っている状況です。本市の職域接種につきましては、4事業所が対象となっているようでございます。そのうち1事業所については、7月5日から接種が始まったというふうに伺っております。残り3事業所については、8月の中旬以降になるのではというふうな情報が入っているところでございます。4点目の接種薬剤の種類とその確保見込みということで、ここについては、ワクチンの関係の報告をさせていただきますが、御手元の資料のとおりでございまして、第8クールまでは高齢者向けということで、希望量を上回る量が入ってきておりますが、第9クール以降が高齢者以外ということで入荷されておりますけれども、希望量よりも少ない入荷になっているということになります。大きな1の現在の接種状況の①から④については以上になります。

○委員（宮内 博君）

医療機関から寄せられている予約に関する意見のところの3のところの段階的に年齢を区分してというところの関係ですけれど、説明では接種券については一斉に配布をしたということですが、優先接種については7月中に区分をしてされるということですが、8月10日からのいわゆる64歳以下の方たちについては、一斉にという形でやるのか。議会でもその細分化をされたほうが混乱が生じないんじゃないでしょうかということ、私も提案をした一人でもありますけど、それはどんなふうに考えていらっしゃるのか、お示してください。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

64歳以下の接種対象者は約6万7,000人になりますが、そのうち既に接種を終えている方、医療従事者等もございまして、それから職域で受ける方もあります。それから優先接種を現在行っておりますが、優先接種で既に接種又は予約が取れている方などがございまして。こういった、もう既に接種を終えている方などを引きますと、対象者の半数ぐらいになるのではないかなということ考えているところです。そういった中で、予約の開始を先に集団接種を行うことで、各医療機関への混雑というものが避けられるのではないかなということ、現在のところでは8月20日以降に、個別接種については年齢を区切ることなく実施しようというところで今、進めているところでございます。

○委員（植山利博君）

64歳以下、18歳以上ということなんですけれど、さっきの現状の接種状況、③のところでは19歳から64歳と言われたような気がするんですけど。18歳は入っていないんですか、ここには。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

現在は満19歳から64歳までということで18歳は入っておりません。

○委員（植山利博君）

ということは、12歳以上が入る段階で18歳は入ってくるという理解でいいですね。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長

(砂田良一君)

満12歳から満18歳については、まだ接種券のほうを送付していないところでありまして、今現在、医師会のほうと接種券の送付時期、また、接種の時期等について協議をしているというところでございます。

○委員 (宮内 博君)

先ほどの件ですけれど、年齢区分の細分化は6万7,000人いる中で半分ぐらいは既に接種を受けるということになるので、残りの3万3,500人ぐらいですか。半分としてですね。そんなに数が多くはないみたいな印象を受けたんですけれど、8月20日以降に個別接種にすることですけれど、8月20日ということになると、まだ随分時間があるわけですよ。集団接種、それから優先接種、そのところで、一応、今、推計値として大体半分ぐらい消化できるのではないかと。そういうことなんですか。そこをもうちょっと詳しく説明してもらえますか。というのが、65歳以上の方は約3万7,000人でしたよね。それで大混乱をしたわけでしょ。要するに、19歳から64歳、残りが3万3,500人ぐらいということになると、65歳以上の人数に匹敵する市民が残されることになるわけですよ。また同じことにならないかという危惧があるんですけれど、そのところをちょっと考えての質問です。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長  
(砂田良一君)

先ほどの答弁の中で、一部、既に接種が済んだり、接種の見込みがある方等を除いて約半分ぐらいはそういうことで接種が終わるのではないかと。また、そのほか、集団接種においても8月10日から予約を開始しますが、今回5,200人ぐらいの規模でありますので、64歳以下の対象というのが2万7000人ぐらいを想定しているところでございます。そういった中で、集団接種のほうを先に予約を開始し、並びに予約システムについても全ての医療機関に御案内いたしたところ、市のほうのシステムを使って予約のほうを管理したいという医療機関が、先ほど言いましたように九つありました。そういったことで、こういった医療機関については、直接電話を受けることなく予約ができるということになりますので、前回のこともあるんですけれども、そういったことで、集団接種等を先にやることで、混乱は避けられるのではないかというふうに考えております。

○委員 (山田龍治君)

予約システムのほうはよく理解しているんですけれど、当然、予約当初になると、よく予約をするときにサーバーに負荷がかかって、ホームページが開けないなどといったトラブルがよくあるのは耳にしますけれども、その辺の予想はしっかり立てられて、サーバーがネットで集中したときにちゃんと対応ができるような考えを持たれているのかだけお聴かせいただきたいと思えます。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長  
(砂田良一君)

ホームページへの負荷については、前回の65歳以上の方のときも確認しましたがけれども、サーバー自体には、そんな大きな負荷かからないということで、大量のアクセスが集中しても、

ダウンすることはないというふうに確認をしております。

○委員（山田龍治君）

65歳以上の方々のネットの予約というのは、考えたときに、少し少ないのかなあと予想されますけれども、64歳以下19歳までという中は、恐らく電話よりもそっちの予約のほうが多くなるのではないかなと私は予想します。よく雨が降ったりして、川の状況見たりとか、県のサーバーを開きたいというので、大雨が降ったときによくサーバーがダウンするんですよ。よくあるんです。そういうことも含めて、2万人とは言わないですけども、一気に予約が集中したときにサーバーダウンする可能性もあると思いますので、そこは入念にチェックしていただいて、対応していただければ。言うことでもないと思いますけれども、対応していただければなと思いますので、よろしく申し上げます。

○委員（仮屋国治君）

細かいことですが、転入者への対応というのは、どのようになっていますか。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策課接種推進グループサブリーダー（大田秋美君）

転入者につきましては、その転入前の市町村の状況によりまして、接種の状況がかなり違うということになりますので、転入者の方へのガイドに、転入されていて接種券をお持ちの上でまだ接種を受けられてない方につきましては、ワクチン対策課のほうへぜひ御連絡くださいということで、ガイドに掲載もしております。また、お電話等でそういう問合せがあった場合にも対応のほうもしております、その都度、接種券のほうを郵送という形で対応しているところでございます。

○委員（仮屋国治君）

もう一つ、米盛病院でクラスターが発生しましたけれども、医療従事者もおられたと思うんですが。ということは接種をしてもやっぱりかかるんだとテレビなんかでも話があるところですけど、こういう場合にはまた2回目のワクチン接種というようなものをなさっていくのですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

医療従事者が新型コロナウイルスに罹患したということで報道で確認したところですが、ワクチン接種をしていると重症化しにくいとか、そういったメリット等もございますし、今まで、そういったワクチン接種されている方で罹患をされたということで、また更にワクチンを受けるのかという話については、これまでは確認をしたことはございません。

○委員（仮屋国治君）

細かいのをもう一つ。職域接種、さっき4か所とおっしゃいましたけれども、どこの団体なのかということ、おおよその人数を教えてください。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

4か所の内訳でございますが、まず、陸上自衛隊国分駐屯地、接種希望としまして1,600人。京セラ国分工場、7,000人。学校法人都築教育学園第一工科大学、1,000人。マイクロカット株



式会社、1,600人、合計1万1,200人というふうに確認をしております。

○委員（仮屋国治君）

接種の完了のめどというんですか。当初予定されていたものと、遅配になってきてからのめどというのは違うと思うんですが、どのように考えておられますか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

我々としましても、接種を希望される方にはできるだけ早く接種を終えるようにということで考えております。国のほうでも11月中にはということで報道等もございました。今回、ちょっとワクチンのほうの供給が減速しておりますけれども、9月中には、国のほうも接種対象者の75%については配布をするというようなことで来ておりますので、当初目指した時期を市としても目指してやっていきたいなというふうに考えております。

○委員（新橋 実君）

今のこのワクチンのクールを見ると、11クールまで約10万人ちょっとですよ。10万人だから半分ですよ。5万人ぐらいになると思うんですけれども、後の状況というのはもう全然把握はできていないという理解でいいですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

第11クール以降、12、13、14クールまでは、1クール約2週間になりますけれども、1クール1万箱と。国のほう配送は1万箱ということになっております。うち、8,000箱が基本配分と。残りの2,000箱を調整枠というようなことで出されております。現在、1万箱で計算しますと、市のほうでは10箱ぐらいになるのかなというふうには思っておりますが、調整枠等もございしますので、なかなか確認がとれないところであるんですけれども、基本枠の8,000箱がありますので、今後入らないということはないということになるかと思えます。また、その8,000箱については、人口割等で配布されるということでございますので、間違いなく10箱近くはクールごとに入荷するというふうに思っているところでございます。

○委員（新橋 実君）

実際、ワクチンは、受けていない方も結構いらっしゃると思うんですけれど、その辺については把握されていらっしゃいますか。どれぐらいが受けないというような形で理解されているのか。それとも、その辺はもう理解せずに、全て100%受けるという理解でされているのか、その辺はどうですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

今、65歳以上の方の接種率が、1回目接種が84%を超えております。そういったことで65歳以上については、限りなく90に近い85%以上になるのかなというふうに思っておりますが、一般の64歳以下については、これよりも下がるのではないかと。8割から8割5分ぐらいのかなというふうに感じているところでございます。

○委員（植山利博君）

同じことなんですけれど、1回目を受けた方が65歳以上は84.27%ですよ。これ以外の残りの方は希望接種をもうしないというような状況で把握されているのか、そこはどうですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

市のほうでは65歳以上の方については、加速化事業を行いまして、民生委員、それから社会福祉協議会、それから市の職員でいきますとケースワーカー、認定調査員等によりまして、各高齢者宅を訪問したり、業務の延長でということになるんですけれども、訪問して掘り起こしを行っておりますので、接種を希望する方については、ある程度、接種が終了するのではないかなと。これ以外の方については、裏を返せば、接種をされない方なのかなというふうには思っているところです。

○委員（植山利博君）

接種をしない方の中には、反作用というんですか。そういうことを懸念される。現実に2回目を打たれた方で、いわゆる副作用というか反作用というか、熱が出たとか、若しくは極端な場合は入院をしたとか、そういう事例は把握をされていますか。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策課接種推進グループサブリーダー（大田秋美君）

医療従事者のように、全てに調査を行うようなことは、市のほうで行ってはおけませんけれども、対策本部、対策課のほうにも相談等は受けるところがよくありますし、あと2回目接種のときに、結局1回目の副反応がちょっと強かったので、2回目をキャンセルしたいというような連絡もありますし、それから熱が出たのでどうしたらいいですかというふうな相談もやはり受けますので、65歳以上の方でも、やはり副反応というのは、それなりに。厚生労働省のほうで報告のほうもありますけれども、そういったぐらいのやはり反応というのが、大なり小なりというか、あるというのは、こちらでも確認はしているところでございます。あと、入院等につきましては、はっきりとそういう事例につきまして経緯を確認しているということはありませんけれども、やはり比較的、医療従事者のほうにつきましては、そういう入院処置まで行ったということで連絡のほうも受けてはいるところなんですけれども、65歳以上につきましても、その入院というところを、ワクチンの影響というところではちょっと確認はできていないのですが、ワクチンの接種後にちょっとしてから入院になったという例はあるのかなというふうには聴いてはいるところです。

○委員（植山利博君）

病院で接種を受けると、病院によってはその痛み止めというか、2度目の副反応を抑えるような、熱を抑えるとかというような薬を出されるというふうに聴いておりますけれども、イオンでの集団接種の場合は、そのような取扱いというか、私はイオンで受けたんですけれど、口頭での説明も何もないということなんですけど、その辺の対応については、どういうふうに考えておられますか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

医療機関での対応というのも様々かというふうにご考えております。今おっしゃいましたイオ

ンでの対応につきましては、副反応については、接種後に15分から30分の待機をしていただきますが、その待機の際に、副反応についての注意書きというものを皆さんにお配りしまして、こういう症状があったときには薬剤の投与を行うとか、ひどい場合には病院への通院をお願いするとか、そういったものの案内チラシを配布しておりますので、その現場での薬剤の投与というのはしていませんけれども、そういった周知をしているところでございます。

○委員（植山利博君）

これは聴いたところですが、そういう副反応を抑えるために、今おっしゃったように病院でもまちまちだと。個人的にそういう話を聴かれて、まちのドラッグストアとかで、それに類するというか、そういう効果を持っている薬を個人的に買われる。市内のそういうところでの品薄、在庫切れがあってなかなか買えないというような話を聴くんですけど、その辺の現状は把握されていますか。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策課接種推進グループサブリーダー（大田秋美君）

報道では、全国的にそういうドラッグストア等で、そういう市販の鎮痛剤、解熱剤等がちょっと品薄になってということで、厚生労働省のほうで、そういった1種類のそういうのではなくてそれ以外も使って大丈夫ですよというふうな周知のほうがされているということでは聴いておりますが、霧島市内の状況につきましては、申し訳ありませんが把握のほうはできておりません。

○委員（植山利博君）

先ほど、予約の市での一括管理を各病院に問い合わせたところ、9医療施設だけだったということで、今回はこういうような質問が出てくるんですけど。63ですか。63施設が参加をしながら9施設だけが予約の市での一括管理ということは、かなりレアというか少ないのかなというふうに思うんですけども、結局、このことが病院の先生たちによって、ワクチンの接種ということに対する取組とか思いとか様々にあるという理解でよろしいですか。私も三、四軒の病院に電話しました。病院によっては、受けたイメージですけど、余りしたくないというような病院もあったかと思えます。ある病院は、かかりつけ医でないとしませんよとはっきりとおっしゃった。私は、かかりつけ医というのはどんな存在なのかと。健康であればなかなか病院に行かない。私は、その病院には何度か行っているけれど、そこに行くんですけど、いつ頃みえましたかと。2年か3年前に行ったと思えますよと。それはもうかかりつけ医ではないと向こうが判断されると。65歳以上でも、病院に行かない人はかかりつけ医はないということになるのかなと。また、病院によっては、どなたでも、うちの病院に来たことのない方も受け付けますよと。その代わり1か月待ってくださいと。だから。そういう対応がまちまちだというふうに。状況についてはどのように評価されていますか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

市のシステムを活用した予約システムについては、9医療機関が現在のところ希望しているということになります。残りの医療機関については、やはり先ほどおっしゃったように、接種を希望する方がやはりこの病院でというような希望もあろうかと思えますし、病院側のほうと

しましても、接種をする側として、かねてからを診ている方を中心にやりたいとか、そういったことで、予約管理システムになりますと、そういった方の選別というのができませんので、そういった医療機関側のほうも接種をするに当たって、やはり細心の注意を払いたいということで、かねてからよく御覧になっている患者さんを中心にやりたいということで、電話での対応を希望されるといった医療機関もあるのかなというふうに認識しているところでございます。

○委員（下深迫孝二君）

今度は第2弾がイオンでも始まると思うんですけども、これは私、日曜日に1回目、2回目と打ってもらったわけですけども、非常に職員の対応も、役所の職員さん方、一生懸命やっていたというので、行かれた方からも私にも電話を頂きました。本当に対応がよかったということですね。それはお伝えしておきたいと思います。そして、1日どのぐらい打っているんですかということ、職員に聴いてみましたら、大体500名ぐらいだということだったんですが、ワクチンさえ入ってくれば、その程度ぐらいずつはイオンのほうでは第2弾のほうでもできるという理解でよろしいですか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

ワクチンの供給ということでございますけれども、ワクチンが潤沢にあれば、集団接種会場のほうも人数を増やしてできるのかなと思っておりますけれども、現在、計画している集団接種については、1日、平日で約200人、土日は約600人近くを予定しております。これについては、8月25日から6週間かけて行いますが、この分については、ワクチンのほうは今後供給される分を確保しながら実施していきたいというふうに思っております。

○委員（下深迫孝二君）

今、ワクチンもファイザーだけが霧島市のほうには来ているんですか。なんかファイザーが集団のほうでもほとんどだったと思うんですが、モデルナのほうも入ってくるのであれば、もっと数がいけるのかなという気がするんですけど、我々素人ですから分かりませんが、そこはどのようになっていますか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長（砂田良一君）

現在のところ、自治体接種についてはファイザー製を。それから、先ほど4か所と申し上げました職域接種については、モデルナ製をということで、国のほうはワクチンの供給をしているというような状況でございます。

○委員（宮内 博君）

先ほどの14項目の中の7項目の所の医師会との連携の関係ですけども、医療従事者の方からこういう質問が出されてきてるんですけども、現場には伝わっていないということなんですよね。先ほどの回答では、医師会と打合せをして情報提供しているということなんですけども、それから先が結局、稼働してないと。機能していないということになってると思うんですけども、その辺の事情と、それからこういう声が寄せられたことを受けて、どのような対応をしていこうというふうに考えていらっしゃるのかをお示ししていただけませんか。

○保健福祉部特任次長兼医療センター整備対策監兼新型コロナウイルスワクチン接種対策課長  
(砂田良一君)

医師会との協議につきましては、これまでも数回、実施をしております。そういった協議内容については、重要項目であれば、適宜、医療機関への説明会というものを実施しております。それからファクス等を活用しまして、ワクチンの供給状況等についての調査等を医療費のほうには実施しているところで、接種に関わる大きな計画とかいうことであれば、必ず医療機関説明会を実施しているというような状況でございますので、我々としては、今ある情報というのは、適宜お流ししているような状況でございます。

○委員長 (平原志保君)

あと2分ぐらいで、お約束の1時間になるんですけども、皆さん、あと質問よろしいでしょうか。

[「なし」と言う声あり]

○委員長 (平原志保君)

ないようですので、ここでしばらく休憩します。

「休憩 午後 1時55分」

---

「再開 午後 1時56分」

○委員長 (平原志保君)

休憩前に引き続き会議を開きます。それでは、この所管事務調査なんですけれども、委員長報告というのは必要でしょうか。するかしないかをお決めいただきたいんですが。

[「それはしないといけない」と言う声あり]

するということですね。委員長報告の内容、まとめはこちらでやってよろしいですか。

[「はい」と言う声あり]

それでは、こちらのほうで報告させていただきます。ほかに何かございますでしょうか。

○委員 (宮内 博君)

現在の接種状況の関係で、旧市町ごとの情報を得ていないということでした。接種状況ですね。それで、接種率、65歳以上で84.27%との報告がされているんですけど、残りの15%ぐらいの人たちですね。その方たちが、いわゆる故意で受けないのか、それとも情報を得てなくて受けることができないのか、移動手段がなくて受けることができないのかという部分というのは、旧市町ごとの情報を持っていない限り、個別具体的には手が打てないと思うんですね。そういう漏れがないように加速化事業をやっているということなんだけど、民生委員とか社協とか、そういうところの協力を得ているということですが、加速化事業で登録している人数は415人と。実際には386件が調整をしたということで、ずいぶん人数が少ないんですね。だから、やはり接種状況が旧市町ごとにどういうふうになっているのかという情報を得て、そして、打たないという人もいらっしゃるわけで、そういう方たちを除いて、できるだけ希望者は全員受けられるような、そういう体制がまだ不十分ではないのかなというふうに感じましたので、そのところは、委員長報告の中にも、接種希望者全員に接種が行き渡るような対応を執行部

に求めておいていただきたいと思います。

○委員（植山利博君）

そのところは見解が分かれるところだろうと思いますけど、加速化事業で1番身近に知っていらっしゃる民生委員の方々が干渉というか、もちろん希望者だけが打つわけですので、無理やり強制することはないと国も言ってるわけですから、そのところの漏れがないように、加速化事業をしているわけであって、それ以上のことは、この情報があふれる中で、このことを知らないとか、分かってないとかということよりも、私としては個人的には、やはり接種することの副反応を恐れたりということのほうが多いのかなと。だから当然、もうちょっとは上がってくるんでしょうけれど、現在が、さっき言いました84.27%ですか。これから加速化事業で、もうちょっと上がるとして90%程度いけば、かなりやはり進んでいるというふうに理解せざるを得ないのかなと私はそう思います。

○委員（新橋 実君）

対策課長の話ではもう85%ぐらいだというような話もされておりました。だから、その辺が限界かなとは思いますが、他市町はどれぐらいかということぐらいは、それは、今後、終わった時点で調べる価値はあるのかなと思いますので、その辺については、他市町に確認をしてもらうぐらいはですね。時間はあるのではないかと思いますので。今現在ではなくても、もうちょっと時間をおいてでも確認をしていただきたいと思いますということをお願いしたいと思います。

○委員長（平原志保君）

伺ったところ、そのデータの集め方として、各旧市町のデータというか、集め方をしていないので分からないという言い方だったんですけども、予防接種自体は、すみません、ちょっと正確な数字は分かりませんが、80%ぐらいの方が、全体的に受けていけば、広がらないわけじゃないですか。だから、高齢者の方がその数値に持ってくれば、あと若い人たちがしっかりとその数字まで上がっていけば、100%受けるものでもないもので、こういう予防接種というのは、70%、80%の世の中の人たちが受けていけば、それでいいのかなというふうにも感じるもので、どうなのかなと。そんなに、何が何でもしっかりとこの数字をというふうにするものでもないのかなというふうにちょっと考えております。

○委員（山田龍治君）

地域のデータに関しては、いろいろお話があると思いますけれども、今後、分析する中で、そういった、どういった地域でどのくらい受けたというのは大事なことだと思いますので、今するというわけではなくて、今後、そういったデータをしっかりとめて、また、ウイルスがコロナではなくて、違うものも出てくる可能性もありますから、今後のデータとしてしっかりとって、どういう地区がやはり高齢者が多くて打てなかったんだとか、打つスピードが遅かったとか、いろいろあると思いますので、分析のためにもデータが必要だと思いますので、今後はそういったものもとるようにということで、のせればいいのではないかなと思います。

○委員（下深迫孝二君）

私、新聞を見ていてよく思うんですけども、おくやみ欄というのがありますよね。あそこに国分、隼人の場合は、亡くなっている方が非常に少ないんですよ。なぜかと言えば、病院が

多いから、病院に入っておられて、本当に何て言うんですか、重症になっておられるような方が多いのかなど。ほかの地域は、かなりの数で、病院が少ない地域ですね、亡くなる方も上がってきてます。ですから、重症の人たちには病院の先生のほうでも、もう打っていらっしやらないのかなという気もしますので、今言われたように、数は、最後にはどうしてもデータはとらなければいけないわけですから、そんなに慌てることはないと思います。現在、進行中なわけですから。

○委員長（平原志保君）

では、よろしいですかね。以上で、本日の日程は終了しました。所管事務調査を終わります。

「閉 会 午後 2時05分」

以上、本委員会の概要と相違ないことを認め、ここに署名する。

霧島市議会 文教厚生常任委員長

平原 志保